



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月5日

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神野 晴年

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 渡部 高生

TEL 03-5114-5810

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日

平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	6,910	△2.9	232	△10.0	238	△5.0	113	△6.8
22年3月期第2四半期	7,120	△4.9	258	△20.3	250	△18.3	121	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	24.04	—
22年3月期第2四半期	25.79	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	8,197	5,286	64.5	1,124.12
22年3月期	8,456	5,269	62.3	1,120.44

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 5,286百万円 22年3月期 5,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
23年3月期	—	20.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	1.5	600	3.5	600	21.9	300	53.2	63.79

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 4,703,063株 22年3月期 4,703,063株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 348株 22年3月期 264株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 4,702,743株 22年3月期2Q 4,702,799株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
(販売及び仕入の状況)	7
(1) 販売実績	7
(2) 仕入実績	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における国内景気は、企業収益の改善と共に持ち直しの動きもみられましたが、欧米を中心とした海外景気の下振れ懸念を背景とした急激な円高、さらには政治の混迷等により停滞感が強まってまいりました。消費環境につきましても経済対策や猛暑の恩恵を受けた業種がある一方、好転しない雇用情勢や先行きの不透明感から消費マインドは盛り上がりには欠け、デフレの影響が続く小売業界は総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社は2期連続して減少した売上高の増加と共に漸減している利益の回復を今期の最大の課題として捉え対処いたしております。

(直営店商品販売事業)

主力の直営店商品販売事業では新規顧客様をはじめとして集客力のアップを図ると共に特に専門店店舗の販売力強化に取り組んでおります。一部商品の百貨店店舗、専門店店舗単位での導入差別化や専門店店舗における「ウエルカムステージ」の拡充等により活性化を図っておりますが、施策の多くが今秋からの実施計画となっていることもあり当中間期におきましては今のところ成果は出ておらず厳しい状況が続きました。当事業売上高は56億34百万円、前年同期より2億42百万円減少となりました。当事業におけるセグメント利益は1億57百万円となりました。

(直営店サービス事業)

リフレクソロジー事業につきましては、販売促進の効果もあり新規顧客数が前年同期比で6.2%増となる等ようやく持ち直しの状況が見られるようになりました。リフレクソロジー事業売上高は5億45百万円、前年同期より8百万円の増加となりました。

またカーブス事業は、ほぼ毎月店舗ごとにミニイベントを実施する等会員の獲得に注力した結果、店舗により差はあるものの会員数は順調に増加いたしました。また5月にオープンした新店も好調に推移いたしております。カーブス事業売上高は2億16百万円、前年同期より41百万円増と大きく伸長いたしました。

その他を加えた当事業の売上高は7億74百万円、前年同期より53百万円の増加となりました。セグメント利益は55百万円となりました。

(卸販売事業)

卸販売事業を中心とした当事業は、量販店向け卸売上高が前年同期を若干上回ったものの、個人経営を中心とした店舗（ローズショップ）向け卸売上高が減少した影響により第2四半期累計売上高は5億1百万円、前年同期より21百万円減少となりました。当事業におけるセグメント利益は19百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は69億10百万円（前年同期比2.9%減）となりました。営業利益につきましては、経費の削減に努めておりますが2億32百万円（前年同期比10.0%減）となり、経常利益は2億38百万円（前年同期比5.0%減）となりました。また、四半期純利益は1億13百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は前事業年度末に比べ2億59百万円減少し、81億97百万円となりました。

①流動資産

当第2四半期の流動資産は前事業年度末に比べ2億20百万円減少し、44億49百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が1億93百万円減少したためであります。

②固定資産

当第2四半期の固定資産は前事業年度末に比べ38百万円減少し、37億47百万円となりました。

主な要因は、差入保証金が76百万円及び長期貸付金が75百万円減少したためであります。

③流動負債

当第2四半期の流動負債は前事業年度末に比べ2億81百万円減少し、21億29百万円となりました。

主な要因は、未払法人税等が2億14百万円及び1年内返済予定の長期借入金が87百万円減少したためであります。

④固定負債

当第2四半期の固定負債は前事業年度末に比べ4百万円増加し、7億81百万円となりました。

主な要因は、退職給付引当金が35百万円増加、長期借入金が34百万円減少したためであります。

⑤純資産の部

当第2四半期の純資産の部は前事業年度末に比べ17百万円増加し、52億86百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が19百万円増加したためであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回発表（平成22年8月6日業績予想）に記載の業績予想に変更はありません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ464千円減少し、税引前四半期純利益は19,567千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は19,102千円であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,114,253	2,307,704
売掛金	873,218	902,639
商品及び製品	1,320,075	1,281,077
その他	146,519	183,536
貸倒引当金	△4,783	△4,783
流動資産合計	4,449,282	4,670,173
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	491,486	501,428
土地	1,519,206	1,519,206
リース資産（純額）	136,176	106,455
有形固定資産合計	2,146,870	2,127,091
無形固定資産	12,999	15,116
投資その他の資産		
差入保証金	922,398	998,748
その他	665,460	720,765
貸倒引当金	—	△75,549
投資その他の資産合計	1,587,859	1,643,964
固定資産合計	3,747,728	3,786,171
資産合計	8,197,011	8,456,345
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,266,824	1,279,182
1年内返済予定の長期借入金	120,380	207,920
未払法人税等	59,555	274,060
賞与引当金	203,442	199,679
その他	478,883	449,479
流動負債合計	2,129,086	2,410,321
固定負債		
長期借入金	28,000	62,920
退職給付引当金	548,511	512,926
役員退職慰労引当金	114,004	109,264
その他	90,973	91,687
固定負債合計	781,488	776,797
負債合計	2,910,574	3,187,119

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,116,836	4,097,832
自己株式	△305	△203
株主資本合計	6,333,434	6,314,533
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,305	△615
土地再評価差額金	△1,044,692	△1,044,692
評価・換算差額等合計	△1,046,997	△1,045,307
純資産合計	5,286,436	5,269,225
負債純資産合計	8,197,011	8,456,345

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	7,120,959	6,910,991
売上原価	2,023,998	1,971,888
売上総利益	5,096,961	4,939,102
販売費及び一般管理費	4,838,402	4,706,477
営業利益	258,558	232,625
営業外収益		
受取利息	2,602	2,717
受取配当金	1,182	1,446
不動産賃貸料	4,957	2,120
その他	2,225	2,397
営業外収益合計	10,967	8,682
営業外費用		
支払利息	4,111	2,323
保険解約損	9,898	—
リース解約損	3,628	—
不動産賃貸原価	—	875
その他	1,230	—
営業外費用合計	18,869	3,199
経常利益	250,657	238,108
特別損失		
事業整理損	—	67,848
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	19,102
投資有価証券評価損	—	2,526
減損損失	8,371	—
特別損失合計	8,371	89,478
税引前四半期純利益	242,285	148,630
法人税、住民税及び事業税	143,536	40,164
法人税等調整額	△22,541	△4,594
法人税等合計	120,995	35,570
四半期純利益	121,290	113,059

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(販売及び仕入の状況)

(1) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
直営店商品販売事業	5,634,574	—
直営店サービス事業	774,703	—
卸販売事業	501,713	—
合計	6,910,991	—

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第2四半期累計期間における販売実績を商品分類別に示すと、次のとおりであります。

(商品分類別販売実績)

区分	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
スキンケア化粧品	2,948,133	94.8
メイクアップ化粧品	640,806	95.6
ヘアケア・ボディ・バスプロダクツ	1,967,894	99.9
化粧雑貨品	544,439	92.9
リフレクソロジー	545,233	101.5
その他	264,484	106.4
合計	6,910,991	97.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第2四半期累計期間における仕入実績を商品分類別に示すと、次のとおりであります。

区分	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
スキンケア化粧品	555,699	99.0
メイクアップ化粧品	115,036	100.1
ヘアケア・ボディ・バスプロダクツ	652,894	104.1
化粧雑貨品	228,212	98.6
リフレクソロジー	5,072	107.1
その他	138,109	105.1
合計	1,695,026	101.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。